

飛鳥資料館 令和5年度秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」

仏教文化が花開いた飛鳥時代、現在の明日香村大字川原の地に川原寺が創建されました。大官大寺・飛鳥寺・薬師寺とともに飛鳥の四大寺として栄えた川原寺は、発願の由緒や創建当時の記録が残らない謎多き古代寺院として知られています。これまでの発掘調査では、広大な寺域や川原寺独自の伽藍配置があきらかとなりました。さらに、近隣の遺跡からは、火災後に埋納されたとみられる塑像や傳仏の断片も大量に発見されています。

本展では、その多くが「かけら」の姿で発見された塑像・傳仏に焦点をあて、これまでの調査研究の成果を交えながら、大小様々な形の祈りのかけらをご紹介します。火災による焼損を受けながらも奇跡的に残った繊細な造形と美しい彩色の痕跡に、ぜひご注目いただければ幸いです。

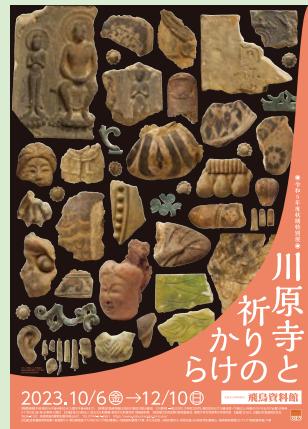
(飛鳥資料館 濱村 美緒)

会 期：2023年10月6日(金)～12月10日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ※11月3日(金)は無料入館日

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎ 0744-54-3561



2023.10.6(金)～12.10(日) 飛鳥資料館

平城宮跡資料館 令和5年度秋期特別展

都城発掘調査部創設60周年記念

「女帝のいのり—発掘された西大寺と西隆寺—」

西大寺は平城宮の西方に位置する称徳天皇発願(ほつがん)の大寺院で、創建から今日に至るまで、法灯を守り伝えています。しかし、創建時の壮大な伽藍の痕跡が現在の住宅地の地下に眠っていることは、意外に知られていません。また、西大寺の東には尼寺である西隆寺も造営されましたが、現在その姿を見ることはできません。

8世紀後半、称徳天皇という一人の女帝が発願した、西大寺と西隆寺。往時の寺觀の一端を蘇らせたのは、開発事業などにともなう長年の発掘調査です。本特別展では、奈良文化財研究所の長年の発掘調査の成果を中心として、創建時の西大寺と西隆寺の姿に迫ります。

西の大寺(おおでら)、西大寺、そしてひとびとの記憶から薄れつつある西隆寺の歴史に思いを馳せその歴史に触れる機会となれば幸いです。 (企画調整部 小原俊行)



会 期：2023年10月28日(土)～2024年2月12日(月・祝)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月26日～1月3日)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問合せ：☎ 0742-30-6753(連携推進課)

■ お知らせ

藤原宮跡資料室ロビー展示

7月1日(土)～12月27日(水)

「日高山瓦窯の瓦」

平城宮跡資料館 夏期企画展

7月22日(土)～10月1日(日)

「イカロスの翼

－薬師寺の発掘成果から見る近世と近代－」

■ 記録

文化財担当者研修

○建築遺構調査課程

6月19日(月)～6月23日(金)

16名

○建造物保存活用基礎課程

7月3日(月)～7月7日(金)

24名

○木質文化財の科学的調査基礎課程

7月11日(火)～7月14日(金)

11名

○遺跡地図・GIS課程

7月24日(月)～7月28日(金)

37名

現地見学会

○飛鳥藤原第213次調査(日高山瓦窯の発掘調査)

7月1日(土)

381名

平城宮跡資料館 春期ミニ展示

「よみがえる西大寺金堂院」

5月27日(土)～7月17日(月・祝) 4,356名

飛鳥資料館 第14回写真コンテスト

「飛鳥のくらし」

7月14日(金)～9月18日(月)

2,936名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール koho_nabunken@nich.go.jp

発行年月 2023年9月